

日光白根山の火山活動解説資料（平成 29 年 11 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

歌ヶ浜^{うたがはま}監視カメラ（日光白根山の南東約 13 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震活動（図 2-①、図 3）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 2-②～④、図 4）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 日光白根山 山頂部の状況
(11 月 15 日 歌ヶ浜^{うたがはま}監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 29 年 12 月分）は平成 30 年 1 月 12 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

計数基準変更履歴

- 開始① 2010年12月10日～ 五色沢振幅：1.0μm/s以上、S-P：1.5秒以内
- 変更② 2011年3月11日～ 五色沢振幅：10.0μm/s以上、S-P：1.5秒以内
- 変更③ 2013年7月1日～ 五色沢振幅：2.0μm/s以上、S-P：1.0秒以内

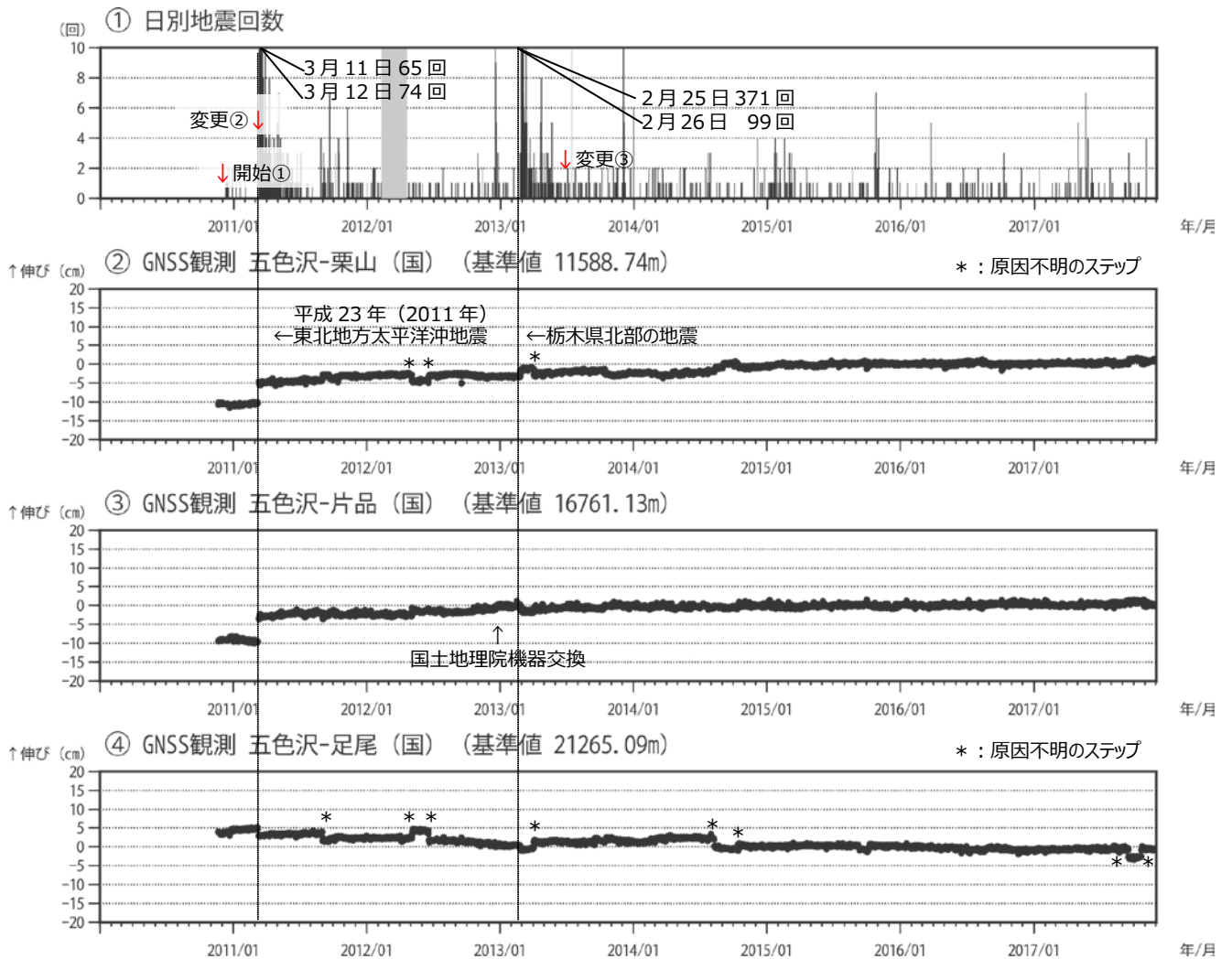


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010年11月20日～2017年11月30日）

①日光白根山周辺の日別地震回数 2010年12月10日観測開始

- ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示しています。
- ・『平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震』以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。また、2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震（M² 6.3）以降、日光白根山の周辺で再び地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。

②～④ GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

五色沢観測点の運用開始日：2010年11月20日

- ・グラフの空白部分は欠測を示しています。②～④は図4の②～④の基線に対応しています。
- ・『平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震』及び2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震（M6.3）の影響により、ステップ状の変化がみられます。

2) M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

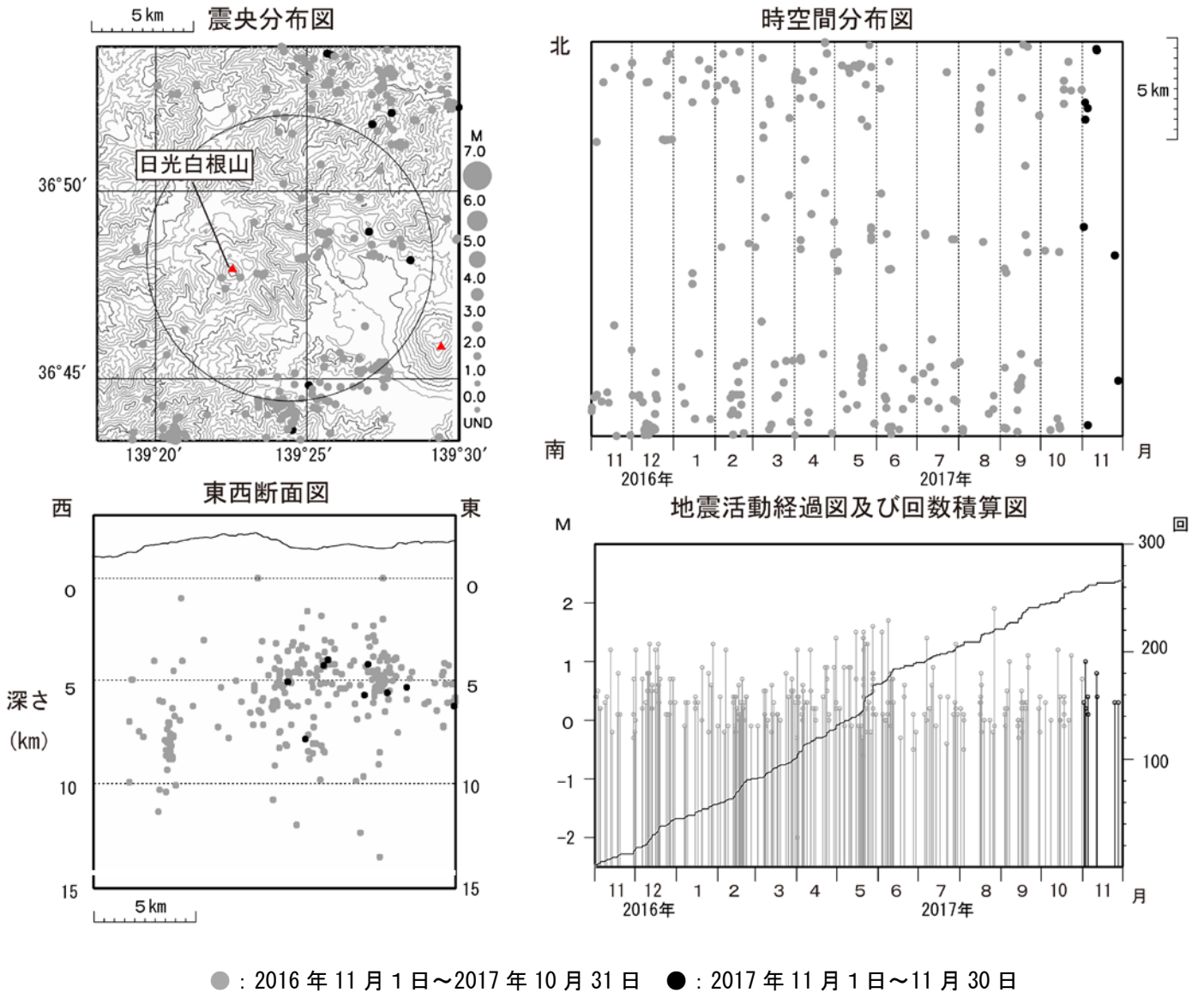
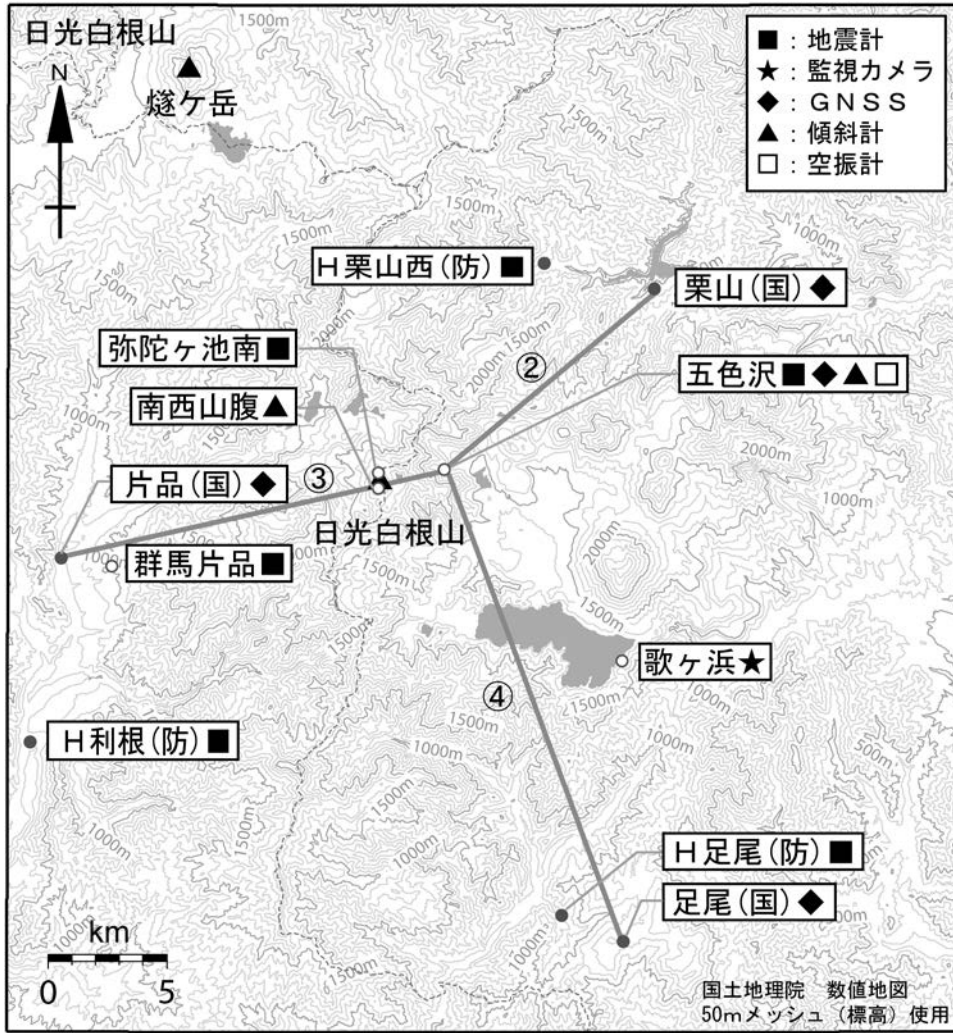


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年11月1日～2017年11月30日)
 震央分布図中の円は図2-①の計数対象地震(五色沢でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。
 震源の深さは全て海面以下として決定しています。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所

図4 日光白根山 観測点配置

・ GNSS 基線②～④は図2の②～④に対応しています。